

【島を訪れる、島に帰る】施策の柱44

①予算事業名	移住・定住・交流推進事業	予算科目	2-1-4-33			基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	交流人口・移住定住人口の増大	
②担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	H30～H32			基本計画の該当箇所	移住定住促進体制の充実 施策の柱44-1	
③事業内容	人口減少に歯止めをかけるため、町民が主体となる「久米島ドリ一部チャレンジ」チームと協力し、移住・定住を推進する。 また、「久米島に移住はしないが、応援はする」という関係人口の増加を推進する。							
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	財源内訳	(a) 国庫						
		(b) 県費						
		◎活性化センター	0	2,000,000	2,000,000			
		(d) 一般財源				1,500,000	1,500,000	
	計(a～d)	0	2,000,000	2,000,000	1,500,000	1,500,000		
	特定財源名	(a)または(b)の名称			(c)の名称	移住・定住・交流推進支援事業		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容						
	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ●移住に必要な情報の収集・発信 ●久米島ドリ一部チャレンジチームへの支援 ●HP「島ぐらしガイド」のスマホページの作成 ●島ぐらしコンシェルジュのFMの放送 ●庁内の移住受け入れ体制の強化 						
	平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ●移住に必要な情報の収集・発信 ●ドリ一部チャレンジの各チームが役場の手を離れて活動している状態を目指す。 						
	平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> ●移住に必要な情報の収集・発信 ●「久米島に移住はしないが、応援はする」という、関係人口を含めた皆で久米島の進むべき道を再検討する。 						
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)	
	新規移住希望者登録数	目標	(/)	(150)	(150)	(150)	(150)	
		実績	122					
	ドリ一部チャレンジのチーム数	目標	(/)	(7)	(8)	(9)	(10)	
		実績	5					
事業効果・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・島ぐらしガイドがーか月あたりページビューー14,500、ユーザー数が2,500である。 ・平成29年度は10回移住フェア・相談会に参加し、平均10人の移住相談を受け付けた ・転入出アンケート・移住希望者登録時のアンケートにより、移住・定住を妨げる要因の分析を行っている ・Uターン応援キャンペーンとして、島内の求人を全戸配布。事業所より、数件電話があったとのこと。 ・久米島ドリ一部チャレンジの6チーム中、5チームが活動中。 ・埼玉県のカフェでのアルバム設置・coralway・琉球新報「うない」・おきコレへの掲載 							
⑧写真及び図面								